

友愛こうら

第98号 発行：甲良町老人クラブ連合会
水と緑に恵まれた、歴史豊かな、この郷土を愛し、
たがいに友情の手で結ばれた老人クラブをめざそう

ご挨拶

三年目に入る感染症 ”コロナ禍を乗り越えていこう”

甲良町老人クラブ連合会 会長

小林 和夫



新型コロナウイルスは一向に収まらず不安が渦巻く中、令和四年度を迎えることとなりました。

会員の皆様にはお変わりなくお過ごしのことと思っております。昨年度は行事のほとんどを中止してしまいましたが、会員の皆様には深く温かいご理解とご支援をいただき、ありがとうございます。

さて、今年度に入り、ワクチン接種も四回目を検討されていますが、果たして感染症のトンネルの出口は見えるのかどうか予想がつかない状態です。医療技術がこれほど進歩した二十一世紀でさえ、手に負えない”感染症”には、まいてっぺしてしまいます。

会員の皆様には、楽しみにしておられるお出かけの場も休みになったり、友人や離れて暮らす家族とも気軽に会えなくなったりして、外出の機会も少なくなり、以前とは違

う日常の過ごし方になってしまった方が多くおられるのではないかと思います。このような状況で家での過ごし時間が長くなり、筋力が落ちて動きづらくなったり、気持ちが悪くなり閉じこもってしまうことなどがあつたりしているのではないかと心配しています。

こういったことから個々の感染症対策を今まで以上に丁寧にし、行事の運営面でも細部にわたり対策を講じて進めていきたいと思います。

そして、進んでいく高齢化に対処し、気軽に身近で集まってスポーツやその他の活動を楽しんでいける会を開催して欲しい、町老ク連が支援して欲しいと考えています。各字の中で、こうした会に老人クラブだけでなく異世代との交流もなされてくれれば、素晴らしいと思います。

『健康第一！』『健康寿命を

延ばす！』を第一に考える老人クラブのさまざまな取り組みについて、甲良町老ク連役員一同、頑張つていきますので宜しくお願いいたします。ことば整わず乱文ではございますが、老ク連本部役員を代表してのご挨拶とさせていただきます。

☆本部役員

坪内創造推進員

藤堂副会長

宮尾副会長

小林会長

松宮副会長

奥野副会長

上野顧問



甲良町民憲章

流れも清い犬上川、緑にはえる山と平野の美しい自然をまもり、祖先の偉業をうけついで、平和なまちをさぎずくため、
私たち甲良町民は、

- 一、清純で、強く正しく生き、住みよいまちをつくりまします。
- 一、人権をとつとび、たがいに助け合い、明るいまちをつくりまします。
- 一、教養をつみ、身をおさめ、文化のかおり高いまちをつくりまします。
- 一、心身をきたえ、未来にはばたく、力づよいまちをつくりまします。
- 一、仕事にはげみ、希望にみちた、豊かなまちをつくりまします。

甲良町スマイルネット行動計画 令和4年度 甲良町老人クラブ連合会の実践計画

行動目標1 → ○「あいさつ」に、ひとことそえてさわやかに
『気持ちよい“あいさつ”そのあとの温かい言葉の交流を』
『相手を大事にした』話し方で、会話をしたい。

さりげなく みんなに示そう お手本を

行動目標2 → ○「いつも きもちのよい 私のまわり
『車の運転 最大限の注意力で 事故防止』
『駐車場の約束、福祉センター前の駐車!!』”中学生が2階から見ている”
『ゴミは自分で始末をしよう』を率先して！

令和4年度 甲良町老人クラブ連合会 活動方針

1. 基本方針

2年余りコロナ禍の蔓延は続き、第6波の爆発的な感染拡大で老人クラブにおいては、ますます厳しさ・緊張感を覚えている。ウイズコロナ社会でコロナとうまく付き合っ、活動していくというものの、難しいことであるが、その具体化を考えていかなければならない。

本町老人クラブ連合会は、昭和40年設立以来半世紀以上、全集落の単位クラブで組織している。そして、人口7000人弱の小さな町で知り合いも多く、高齢者のよさを生かして連合会活動を推し進めている。先輩諸氏が築き上げられた歴史と、連合会と単位クラブの連携・融合をだいに、活動していきたい。

町内各集落の高齢化率も年々高くなり、介護や支援を受けなければならないため、退会するという人も出てきている。『健康で長生き』『健康第一』『健康寿命をのばす』を掲げ、そのために積極的に老人クラブに関わり、だれもが主人公となって、『楽しむ』クラブづくりを 会員みんなですていきたい。

超高齢化のなか、安心安全な日々の暮らしをしていくため、社会保障や介護等にも関心を寄せ、今日的課題である相互支援や生活支援の基盤を、友愛精神をだいにし、高齢者のよさをいかして迫りたい。

新しい事業への取り組みや組織の改編などは、老人クラブに限らず難しいことである。役員の選出、用務の軽減、リーダーづくり、部会組織の活性化など、課題は多い。さらに、会員増強・入会に関する課題は重要課題として実態に応じて取り組まなければならない。こうした課題の達成に向かって、理事会や役員交流会において動き出している。コロナ禍のため各種会議や研修会も開催できない状況ではあるが、単位クラブ間の交流や、連合会との連携や融合をさらに図り、課題に積極的に迫っていききたい。

甲良町老人クラブは、みんなで こんなクラブづくりを めざして いきたい

“入っていて よかった! 参加して よかった! 次も いきたい!”

2. 重点事項

- (1)ウイズコロナを みんなが理解して クラブづくりの活性化を 図る
- (2)健康で 爽やかな 高齢期の暮らしづくり
若々しい身体機能～体も頭も心も～を保持、健康寿命を延ばしたい
- (3)互いが心通わせて 安心して暮らせる つながりづくり
支え合う生活支援活動の基盤を 高齢者のよさを生かして つくりたい
- (4)一人でも多くのなかまで 楽しむ 活動づくり
甲良町老人クラブのよさが見える行事を 創り出していきたい
- (5)組織の充実をめざす リーダーづくり
役員の積極的な行事への参加で クラブのよさを体験し 広めてほしい
- (6)部会組織を確立して 老人クラブ連合会の機能づくり
事業の精選と重点化 役員の用務の軽減をめざしたい



今年度は、コロナによる取り組み方の違いを明確にして事業・行事を開催していくこととして多くの内容の会議でした。約2/3が新しい理事となり、本部からの説明も十分理解できたか心配でした。しかし皆様の深く温かいご理解のおかげで無事に終わりました。また、今年度もコロナの影響はますますひどくなってくることも予想されます。事業開催については、部会組織を大事にして協議し、展開していくことができればと考えています。理事会においても短時間でしたが部会を設けて正副部長を決めていただき、理事の紹介も部会ごとの写真としました。役員の用務の軽減の課題も考えながら取り組んでいくことができればと考えています。また単位クラブと連合会との連携をもっともつと密にしていくようにしていきたいと思えます。

令和四年度

第一回 理事会

四月四日(月)開催

年度初め・第一回の役員会です。

全字・単位クラブの会長さん、そして、女性委員さんそれぞれで構成する重要会議で、多くの案件について提案し、一年間を見通していきましました。

令和四年度

第一回 女性委員会

四月五日(火)開催

女性委員の役割や取り組み方については、累年の課題となっていました。令和二年度老人クラブ大会が第五〇回の記念大会を迎えるのを機に、活動をしていく段取りでしたが、コロナ禍のため叶わず、今年度までも同じ状況が続きました。

本会では、連合会の活動方針に基づく多くの事業について説明がありました。女性委員としての関わりについても新しく提案がありました。女性委員の行事への積極的な参加と、会員さんへのお誘い、そして大会等に係る記念のしおりづくりの仕事。こうした活動を通して老人クラブの活性化に力を発揮していくことが提起されました。女性委員の任期もほとんどが一年です。その一年を自分自身の高齢期の活性化の一年にもしてほしいと思えます。

甲良町老ク連の役員は、各字から推挙していただいた理事と女性委員、そして本部事務局員とで構成しています。本連合会の事業は、長い歴史と今日的課題をふまえて精選し、内容の重点化を図って部会組織を活かして進めたいと考えています。しかし、理事、女性委員共に字のクラブでの重要な役にあり、役員用の務の軽減という課題とも関わると難しくなっているのが現状です。今年度は、少しでもこの課題の解決の方途を見つけ出していけるよう考え実践していきたいと思います。



保健体育・健康推進部会



研修・文化活動推進部会



広報・友愛活動推進部会



女性部・委員活動推進部会



女性委員会

令和4年度 甲良町老人クラブ連合会 役員

主管課長	顧問	会長	副会長
保健福祉課長 山崎志保美	上野 善久	小林 和夫	松宮 正次 宮尾 壽子 奥野栄一郎 藤堂 久枝

監事	創造推進員	事務局	町保健福祉センター内
奥川 康夫 片岡 新一	坪内千鶴子	電話 (0749) 38-2941	

理事 (単位クラブ会長)		女性委員	所属単位老人クラブ	
氏名	所属推進部会			
松原正与志	保健体育・健康	藤 礼子	在 士 老人クラブ	
		辻 紀子		
西堀 與一	広報・友愛活動	辻 正子	下之郷	第一 寿福会
上野 正美	研修・文化活動	松宮 悦枝		第二 寿福会
二階堂正雄	保健体育・健康	寺居 陽子		第三 寿福会
阪東 幸子	女性部・委員活動	阪東喜代子		第四 寿福会
北川 勝	研修・文化活動	小嶋眞喜子	尼 子	鎮堂 喜楽会
北川 勝美	保健体育・健康	堀 治世		西出 喜楽会
坪内千鶴子	女性部・委員活動	木村外代子		田居中喜楽会
松宮 悟	保健体育・健康	松宮しげ子	尼子出屋敷 延 寿 会	
森田 正道	研修・文化活動	————	呉 竹 老人クラブ	
浜野 英男	広報・友愛活動	北川 秋子	小川原 老人クラブ	
		北川 恵子		
上田 昭一	保健体育・健康	辰野 和恵	北 落	やすらぎ会1班
野瀬 正三	研修・文化活動	上田 綾子		やすらぎ会2班
片岡 清	保健体育・健康	川副美津子	金 屋	長楽老ク 1班
片岡 新一	研修・文化活動	鋒山 保子		長楽老ク 2班
深田 一平	研修・文化活動		正楽寺 正 寿 会	
松宮 清次	広報・友愛活動	山田千津子	池 寺	第一 長寿会
橋本 敏治	研修・文化活動	松元 仁子		第二 長寿会
大橋 徳文	保健体育・健康	中西かず子	長寺東 和 楽 会	
		橋本 節子		
山田金次郎	保健体育・健康	————	長寺西 老人クラブ	
松原 常夫	保健体育・健康	桂田 次子	法養寺老人クラブ 法寿会	
		岩崎とし子		
奥川 康夫	広報・友愛活動	奥川 富子	横関老人クラブ天寿会	
		古川 豊子		



令和4(2022)年度 甲良町老人クラブ連合会 年間事業(行事)計画

月	日	曜	事業(行事)内容	月	日	曜	事業(行事)内容		
4	4	月	町老ク連 理事会①	10			町老ク連・字老ク共催事業として、関係団体等と競技し(仮称)『字の老人クラブで運動(スポーツ)を楽しむ会』の企画をする。		
	5	火	町老ク連 女性委員会①						
5	9	月	生活文化クラブ活動① 加入者の集い		3	月		生活文化クラブ活動④	
	19	木	春季グラウンドゴルフ大会(雨天翌日) (両日不可の時は、別途考え、開催する)		14	金		町老ク連 理事会③ 選考委員会	
			町老ク連・字老ク共催事業として、関係団体等と競技し(仮称)『字の老人クラブで運動(スポーツ)を楽しむ会』の企画をする。		14	金		女性委員会④	
	20	金	広報『友愛こうら』98号発行 『ちょっと声かけ:見守り訪問』		15	土		広報『友愛こうら』100号発行 『ちょっと声かけ:見守り訪問』	
	31	火	町老ク連 第47回一泊親睦旅行		21	金		町老ク連秋季グラウンドゴルフ大会 (雨天翌日) (両日不可の時は、別途考え、開催する) 《生文クラブ町文化祭・作品出展》	
6	1	水	～ゆっくりゆったり和やかな旅～		未				第4ブロック役員交流研修会・NS講習会 (本部 正副部長 他)
	17	金	生活文化クラブ活動②						
	25	土	町老ク連 単位クラブ役員交流会① ニュースポーツを楽しむ会・研修会 会場:中学校体育館						
7	8	金	県老ク連創造推進員研修会・講習会 (本部 体育部)	11	3	木	甲良町老人クラブ大会		
	11	月	生活文化クラブ活動③		8	火	全国老人クラブ大会《東京》(本部 関係者)		
	22	金	町老ク連 女性委員会②	16	水	滋賀県老人クラブ大会(栗東)《役員》			
	25	月	広報『友愛こうら』99号発行 『ちょっと声かけ:見守り訪問』	12	2	金	町老ク連役員人権研修会		
8	1	月	町老ク連理事会②		1	18	水	町老ク連 男性の料理教室	
	18	木	町老ク連 役員先進地交流研修会	18		水	町老ク連 理事会④		
	19	金	(リーダー養成と組織・会員増強クラブづくり)	20		金	広報『友愛こうら』101号発行 『ちょっと声かけ:見守り訪問』		
	26	金	町老ク連 役員友愛活動奉仕作業	20	金	生活文化クラブ活動⑤			
9	9	金	町老ク連女性委員会③	2	17	金	生活文化クラブ活動⑥		
	未		第4ブロック役員研修会 (本部 正副部長 他)		28	火	滋老ク連 高齢者相互支援活動研修会 女性委員主催研修会 (本部 理事 女性委員 他)		
	未		彦根警察署管内自転車安全運転大会 (字チーム 体育部 他)		3	8	水	町老ク連 理事会⑤ 女性委員会⑤	
			10	金		広報『友愛こうら』102号発行 『ちょっと声かけ:見守り訪問』			



編集後記

新型コロナウイルスの感染状況やワクチンの接種状況等について注視し、関係機関とも協議しながら、高齢者組織の事業の扱いを熟慮して取り組みを考えていきたい。準備は計画通り綿密に進めていく。役員をはじめ会員のウイズコロナ社会における事業のあり方への理解を深め、多くの意見を聞き、慎重に考え開催していきたい。部会関係はここではあげていないが、各部会で事業に合わせ考えていってほしい。

コロナ禍は、収束どころかますます強くなって感染拡大をしていると報じています。しかし、本紙の編集をしているときは桜花爛漫の中で、自然の恵みに感謝しつつ、わくわく感を覚えました。「桜を見て、静かに食事。人生のひととき。」

こんな言葉が目につきました。「年間行事の立案をしていますが、くじけそうになっていました。この言葉を読んで、すべての老人クラブの行事をコロナ社会の中で高齢者のよさを発揮して楽しむ「今年度の行事」を思い切って創り出していきたいと思いました。恐ろしいほどの豪雪で厳寒の冬も乗り越えたのです。今年度も、どうぞよろしくお願いたします。」